

3月13日全国重税反対統一行動 新潟県中央集会の成功を！自主申告を認めさせよう！

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141

18年2月26日



3月13日(火) 午前9時

県民会館大ホール

集会 9時～9時40分

デモ 9時50分出発

■マイナンバーは記入するのか？

番号が未記載でも申告書は受理します。罰則もありません。記入すると本人確認の「番号通知カード」と「身分確認書類」の提出が求められ煩雑です。

■「収支内訳書」は提出をしなくても、罰

則は無く、不利益な扱いもされません。

■銀行等から「税務署の収受印の押された

申告書控え」を求められている方は、受付票を使わずに、申告書控えに収受印を押してもらってください。

日程

- ・二月二十七日(火) 理事会
- ・三月六日(火) 三役会
- ・三月十五日(木) 共済会三役

医療費控除

〈領収書提出について〉

これまで医療費控除を受けるためには、病院や薬局からの領収書やレシートを合計し「明細書」に記入し、「明細書」は領収書などと一緒に提出していましたが、今年から「明細書」のみで領収書の提出は不要になりました。しかし、税務署に提示などを求められたら必要になりますので領収書等は5年間は保管してください。



税金を一度に納められない方参加ください

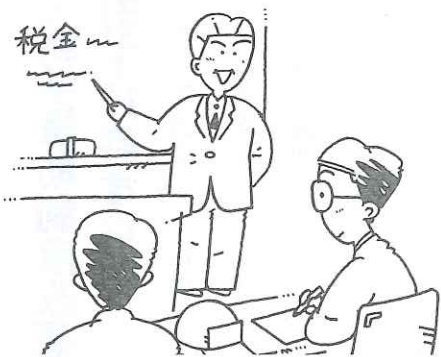
消費税分納・換価の猶予

相談&申請お知らせ

●とき 3月28日(水) 12:30

●場所 民商事務所(説明会后、税務署に申請)

税務署に分納・換価の猶予の申請を希望する人は、事前に役員・事務局にお知らせください。



※お手元に確定申告書は届きましたか？

1月下旬から順次、確定申告書が皆さんのお手元に届き始めたかと思われまます。市役所申告の方は少し遅いようですが・

各支部でも申告会・班会がピークを迎えています。今の情勢を知り、普段なかなか顔をあわせられない会員さんと交流出来る、いい機会です。申告書もみんな教え合いながら、安心して作成できます。

まずは封筒を開封して中身を確認し、確定申告に向けての準備を進めましょう！

添付書類



「公的年金等の源泉徴収票」

「国民年金保険料控除証明書」

「生命保険料控除証明書」

「地震保険料控除証明書」

国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険料・医療費控除の明細書等ありましたら、関係書類を持参して下さい

寺尾支部 申告完成集会（最終日）

2月14日午後の部、夜の部を坂井輪公民館で開催し、計15名の会員さんが参加しました。集会運営側の人員不足で持ち込んだパネルの説明に纏まった時間が取れませんでした。会員さんからの「思ったより税金高くなった」など意見を聞いた時など、少しだけパネルが活躍しました。

各会員さんの申告書完成状況にもバラつきがあり「検算してほしい人」から「経費の領収書や控除の書類が足りない人」まで参加があり、申告書の大判を活用して一斉に進めるには少し難しい状況でした。

そんな中で会員同士の雑談からつながりが生まれ「商売で自家用車使っているなら、その利用率で経費にできるよ」など、自信を持って帳簿をつけている方が助言する場面もありました。

事務局が先陣きって「こうやって計算しましょう」と説明するのではなく「会員同士が相談しあう」これが民商のいいところだと改めて実感しました。

「集まって、話し合い、相談する」民商活動を大いに進めて行きましよう。

小中学生の教育費助成・就学援助制度改悪による認定外し、金額引下げ許すな

小中学生の学用品や修学旅行費、給食費等を援助する就学援助制度。新潟市はかつて認定率を増やす全国に誇れる制度でした。現在は所得が生活保護費の一・三倍以下の世帯を対象とし四人に一人が認定されています。しかし平成三〇年度予算では事業見直しを行い、支給基準を引き下げ現在一五〇〇名の認定者のうち五四〇人を認定から外し、一五〇〇名を給付を引き下げる改悪を狙っています。

学校への納付金は減らず、特に給食費は家庭に重くのしかかり、子供たちの家庭の経済状態は改善されていません。今子供たちの貧困は七人に一人以上と言われている、子供たちの貧困と格差が広がっています。憲法第二六条は「義務教育は無償」としており、就学援助はこの実現に向けた大切な制度です。

「就学援助をよくする連絡会」で議会陳情

民商も参加する連絡会では現在開会中の市議会に、陳情を行います。陳情項目は以下の二点です。

一、認定基準の生活保護基準の一・三倍を堅持し、充実を図ること。

二、学校給食費を全員支給にすること。

国保引下げ署名ハ七六九筆市に提出

一世帯当たり年間わずか二二〇〇円の引下げ

署名を受け取った市側は「みなさんからすれば不十分と思われるかもしれないが若干の引下げをする」としました。しかし、わずか年間二二〇〇円の引下げに「主婦感覚からはチョットという感じ」「負担の重さは半端でない。市はシツカリとそのことを受け止めて欲しい」と批判の声が。



署名を手渡す「国保をよくする会」の星俊和事務局長

予算案の内容を聞くと当初一般会計からの繰入を五億九千万円を考えていたのを一億八千万円まで減らし、しかも見込みの黒字額が五億五千万円も黒字になるというのでは、「保険料の取り過ぎでないか」との声も出ました。